



# 穂学

令和6年度 広州日本人学校  
学校だより No.8  
令和6年11月8日  
発行責任者 校長 大久 耕

～ 広州日本人学校は2025年学校創立30周年を迎えます ～

## JSG 運動会を終えて

10月26日(土)、令和6年度のJSG運動会を実施いたしました。当日は、朝早くよりご来校いただき、子供たちの演技に温かな拍手とご声援をいただきありがとうございました。

開催に当たりましては、在広州総領事館、保護者・PTA(おやじの会等)、広州市公安局等の協力を得て、予定通り実施することが出来ました。

子供たちも、これまでの学習や練習の成果を存分に発揮しました。また、事後アンケートには、子供たちの頑張りにより多くの賞賛をいただきました。振り返りの中で、子供たちにも内容を伝え、自信と今後の学習への意欲に結び付けることが出来ました。

これまで、ご家庭での励ましや体調管理など、様々なご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

【全力発揮 ～心を一つにきずなのバトンをつなげよう～】



## ほーやん集会 ～11月5日(火)～

学校生活も1年の後半に入り、児童生徒会活動や委員会活動も委員の交代がありました。

5日(火)朝のほーやん集会では、新委員長が活動の方針や目標について、全校に説明を行いました。

また、30周年記念事業実行委員※からは、30周年に向けて、学校をよくするためのアイデアを広く募集していくことについて、説明がありました。



児童生徒会活動等は、自主的な活動や自発的な行動力を育てていく場です。「自分にできることは何か」、「みんなのために何をすればよいか」を考え、より良い学校づくりに結びつけていきたいと思えます。

※ 広州日本人学校は、1982年開設の「広州補習授業校」が母体となり、1995年4月に広州市教育局の認可を受けて、「広州日本人学校(広州日本人外籍人員子女学校)」として開校しました。

## 出前授業「広州の企業について調べよう」～11月4日(月)・5日(火)～

11月4日・5日両日に、小学部4学年の総合的な学習の一環として、広州にある日本企業の方にご来校いただき、出前授業を実施しました。講話や質問をとおして、「日本と中国(広州)の違い」や「仕事に対する思い」、「働くとは、どんなことなのか」など、多くのことを学びました。

4年生の総合的な学習の時間では、日本の企業について調べる活動を通して、日本の良さやすばらしさを知り、日本人として誇りを持って国際社会で生きていけるための基礎作りを目指しています。

今回の活動にご協力いただきました広州益力多(ヤクルト)乳品有限公司様、日立中国有限公司様ありがとうございました。

## 自由授業参観 ～11月7日(木)・8日(金)～

11月7日・8日両日に実施いたしました自由授業参観には、ご多用中にもかかわらず多くの保護者の皆様にご来校いただきました。通常の授業参観とは違い、子供たちもいつも通りの学校生活を過ごしております。休み時間の姿や他学年の児童生徒の様子、多くの教科をご覧いただけたことかと思えます。

お気づきのことなどございましたら、担任をとおしてお知らせください。

### ～ 学校長日記 ～

30周年に向けての準備が始まりました。手元にある資料には、1995年4月の在籍数が、小学部17名、中学部1名、計18名となっています。紆余曲折ありましたが、子供たちには、これまでの多くの人たちに支えられ、守られてきたからこそ、今広州で生きるみんなの学ぶ場所(=広州日本人学校)があることを知り、感謝の心を持って生活してほしいと思っています。同時に、私たちには、「つながり」を大切に、未来に広州で生きる仲間(子供たち)に、すばらしい学校を受け継いでいくという使命があることも理解してもらいたいと思っています。

子供たちには、「広州日本人学校の未来を考えよう!」と呼びかけました。30周年記念事業は、子供たちのアイデアを形にしながらか、より良い学校づくりをする機会にしていきたい、そう思っています。